

韓国の風景

韓国伝統舞踊の饗宴を二夜限りで開催

駐日韓国文化院は、ソウル国際文化交流会、韓国芸術総合学校 世界民族舞踊研究所と共に 2023年7月に開催した「韓国伝統舞踊と音楽の饗宴」へのご好評にお応えするため、続編「韓国の風景」を企画しました。

今回の公演も昨年の公演に続き、韓国伝統芸術家育成のメッカである韓国芸術総合学校の許栄一（ホ・ヨンイル）舞踊院名誉教授が芸術監督を務め、韓国伝統芸術界の重鎮と若手芸術家たちが共演し、韓国伝統舞踊の真髄と普段なかなか観ることができない伝統と創作が融合した計 16 演目を 4/17(水)と 4/18(木)の二夜にわたって披露します。

つきましては、本イベントの周知にご協力をお願いします。資料のご依頼、ご取材のお申込については、韓国文化院までご連絡ください。

★マスコミの方々に観覧をご希望の方にはお席をご用意いたしますので、
メール 《 pr@koreanculture.jp 》までご一報ください。



【イベント概要】

- 行事名：韓国の風景
- 日時：2024年4月17日（水）、18日（木）※2回公演
いずれも 19:00 開演（18:30 開場）
- 会場：駐日韓国文化院 ハンマダンホール（2F）
（東京都新宿区四谷 4-4-10）
- アクセス：東京メトロ丸ノ内線 四谷三丁目駅より徒歩 5 分
- 内容：韓国伝統芸術界の重鎮と若手芸術家による韓国伝統舞踊の舞台
- 主催：駐日韓国大使館 韓国文化院
ソウル国際文化交流会
韓国芸術総合学校 世界民族舞踊研究所

■ 観覧について：無料、事前申込制、各回 300 名募集

- － 締切：4/3（水）
- － お申込が定員を超えた場合は抽選となります。
- － お申込にはホームページ（www.koreanculture.jp）での会員登録（無料）が必要です。

「お問い合わせ」 駐日韓国大使館 韓国文化院 ☎03-3357-5970 www.koreanculture.jp

イベント担当 朴志勲（パク・ジフン） / 広報担当 趙恩京（ジョ・ウンギョン）

【プログラム】 ※プログラムは諸事情により変更になる場合があります。

4/17 (水)

チェ・オクサム流カヤグム散調 (サンジョ) / 金海淑 (キム・ヘスク)

「散調」は1890年頃に創られた器楽独奏曲で、演奏者個人の技量と楽器の特徴が際立つ韓国伝統音楽ジャンルの一つです。今回演奏するチェ・オクサム流カヤグム散調は、ハム・ドンジョンウォル (1917-1994) がチェ・オクサム (1905-1956) から伝承したもので、はっきりとした旋律の展開と論理的な構成が特徴です。遅いテンポから始まり、だんだんとテンポが速くなる力強い演奏にご注目ください。



パク・ビョンチョン流 珍島太鼓舞 / 白珍珠 (ペク・ジンジュ)、李度英 (イ・ドヨン)

人間国宝の故パク・ビョンチョンが農楽から太鼓だけを独立させ舞踊化したものです。風物のリズム、パンソリのリズム、儀式のリズムにより構成され、太鼓を腰に固定し、両手でバチを持って踊るのが特徴です。



Untitled / 裴眞鎬 (ペ・ジンホ)

世相の中で「自分」という存在を見つけるために奮闘し、消耗される様々な感情を振り返ります。そのことで「存在」が根付くことはできるかを問いただします。



春鶯囀 / 安德起 (アン・ドクキ)

朝鮮王朝の第23代王「純祖」の時代に孝明世子が母親の純元王後の生誕40年を祝うために創ったもので、早春の朝に木の枝でさえずる鶯 (ウグイス) を表現した踊りです。1893年に宮中内の公演の手順を記録した芸術書「呈才舞図笏記」に舞譜が掲載されています。



サルプリ舞 / 崔丁壬 (チェ・ジョンイム)

サルプリ舞は身体の厄を追い払う意味を持ち、人生の悲しみと喜び、そして恨 (ハン) の情緒を表した舞です。節制された美しさと余白があり、動きの中の静けさという意味を持つ「静・重・動」の身振りが特徴です。



飛上 / 鄭惠眞 (チョン・ヘジン)

1974年に韓国舞踊家の崔賢 (チェ・ヒョン) が空を飛びたい「鳥」をモチーフに振り付けた作品。韓国の慶尚道地方の仮面劇で演じられる「トッペギ舞」が基になっています。閑良 (両班の中でも官職に就くことなく遊んで暮らす人のこと) の風流と職人気質が伺える『飛上』の余白の美は、高い青空を飛ぶ鶴の孤高さと自由奔放さをよく表しています。



ホトゥンチュム / 白景祐 (ペク・ギョンウ)

ホトゥンチュムは韓国伝統舞踊の根幹となる踊りで、場の雰囲気に合わせて興 (フン) と風情を調整し、即興性を発揮できるのが特徴です。特別な衣装と小道具が必要なく、場と雰囲気に合わせて踊りの順番を変えられるのがメリットです。



散調 / 尹美羅 (ユン・ミラ)

韓国の女性をイメージした「散調」は、時代と踊り手により常に新しく構成されてきました。尹美羅の「散調」は叙情的かつ繊細な韓国女性の感情を表すため、現代的な身振りとは伝統的な身振りを融合させた舞です。

太平舞 / 梁性玉 (ヤン・ソンオク)

無形文化財第92号に指定された踊りで、王と王妃が国の豊年と太平盛味が込められています。高度で複雑なステップとリズムカルな音楽がカン・ソンヨン流太平舞は厳粛さをベースに華やかで優雅に踊るのが



太平舞は韓国の大を祈願する意見どころです。特徴です。

4/18 (木)

キム・ヘスクの風流路程 / 金海淑 (キム・ヘスク)

散調は定型化されたリズムの曲で、シナウィは本来クツ（祭儀のような韓国伝統儀式）の伴奏音楽を指す用語でしたが、最近は舞台上で合奏され、即興的に演奏が繰り広げられることが多くあります。本日の舞台ではシナウィ合奏のために創ったカヤグムのリズムと、アン・ギオク散調のオツモリリズムを基に新たに構成した作品をお届けします。



境界：線 / 白珍珠 (ペク・ジンジュ)、李度英 (イ・ドヨン)

「葬儀」という儀式を幼少期に経験した振付師が再解釈した作品です。幼い子どもの目に映った「死」は悲しいだけの型にはまった単なるセレモニーに留まりません。時間が経った今、当時の「葬儀」を振り返り、「死」について考察します。



Untitled / 裴眞鎬 (ペ・ジンホ)

世相の中で「自分」という存在を見つけるために奮闘し、消耗される様々な感情を振り返ります。そのことで「存在」が根付くことはできるかを問いただします。



ホトゥンカラクチュム / 安徳起 (アン・ドクキ)

ホトゥンカラクチュムは故パク・ビョンジョンの「クウムシナウィ」音楽と共に披露されます。今年初めて上演される作品で、マダンチュムの自然な身振りとキバンチュムの繊細さを調和したものです。男性的でかつ音楽から感じられる「恨 (ハン)」の情緒が染みついた舞で、今回の舞台を通じて初めて披露される安徳起の新しい韓国伝統舞です。

愛蓮説 / 崔丁壬 (チェ・ジョンイム)

「愛蓮説」は高尚かつ上品で、明るく清らかな香りをもつ「蓮」を称える踊りです。

泥の中で咲く 明るく清らかな花
風に吹かれても 揺れることなく凜とした花
波にすべての欲望を流した 孤高な花
最も華やかな瞬間 自ら散ることのできる美しい花
遠くなるにつれ 一層清らかで綺麗な蓮華の香りが身振りに乗って漂う



テピョンソ (太平簫) シナウィ / 鄭惠眞 (ジョン・ヘジン)

シナウィは韓国巫俗音楽の一種で、テピョンソ (太平簫) シナウィはテピョンソの華やかで強い音色で演奏する定型化されていない器楽曲を意味します。テピョンソシナウィに合わせた力強い踊りを披露します。

巫女舞 / 白景祐 (ペク・ギョンウ)

京畿地方のトダクツと全羅地方のタンクツの巫女舞の身振りを基に作品化した舞で、神の予言者のように威圧的に、そして時に神秘的に魅せるドラマチックな舞です。



タルグボル (達句伐) 立舞 / 尹美羅 (ユン・ミラ)

タルグボルは大邱 (テグ) の昔の地名で、「手巾舞」とも呼ばれる女性らしさが特徴の舞です。控えめに舞う手巾と軽快なソゴノリのホトンチュムが調和しています。



太平舞 / 梁性玉 (ヤン・ソンオク)

太平舞は韓国の無形文化財第92号に指定された踊りで、王と王妃が国の豊年と太平盛大を祈願する意味が込められています。高度で複雑なステップとリズムカルな音楽が見どころです。カン・ソンヨン流太平舞は厳粛さをベースに華やかで優雅に踊るのが特徴です。



【出演】



許栄一 (ホ・ヨンイル) / 芸術監督

現 韓国芸術総合学校 舞踊院 名誉教授
ソウル国際舞踊コンクール執行委員長
前 韓国芸術総合学校 世界民族舞踊研究所 所長、同 生涯教育団 団長
2012年 第44回 大韓民国 文化芸術賞 大統領賞



金海淑 (キム・ヘスク) / カヤグム (伽耶琴)

現 韓国芸術総合学校 伝統芸術院 名誉教授 / 前 韓国国立国楽院 院長
ドイツ ルドルシュタット (Rudolstadt) 世界ワールドミュージックフェスティバル
ヘッドライナー、2015年「アリランファンタジー」をカーネギーホールにて公演



梁性玉 (ヤン・ソンオク) / 舞踊

現 韓国芸術総合学校 伝統芸術院 名誉教授 / 前 ソウル芸術団 舞踊監督
韓国重要無形国家遺産「太平舞」保有者
2020年韓国古典芸能名人舞台「同行」に出演



尹美羅 (ユン・ミラ) / 舞踊

現 慶熙大学校 舞踊学部 教授
チンセ踊り保存会会長、ダルグボル立舞保存会 会長
韓国気舞協会 会長



白景祐 (ペク・ギョンウ) / 舞踊

現 白景祐舞踊団代表 / 故 李梅芳 (イ・メバン) 先生助教
韓国重要無形国家遺産「僧舞」履修
2015年 第15回名唱朴録珠 (パク・ロクジュ) 全国国楽大典 大統領賞受賞



鄭惠眞 (チョン・ヘジン) / 舞踊

現 ソウル国際舞踊コンクール芸術監督 / 前 ソウル芸術団 芸術監督
前 ソウル市舞踊団団長
現 チェ・ヒョンウリチュム院 会長



崔丁壬 (チェ・ジョンウム) / 舞踊

前 国立舞踊団主席舞踊家
92号カン・ソンヨン流太平舞履修者
前 貞洞劇場長



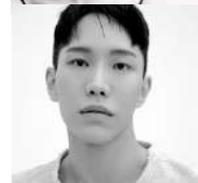
安德起 (アン・ドクギ) / 舞踊

現 韓国芸術総合学校 舞踊院 実技科 教授 / 前 韓国国立国楽院 舞踊団 首席
現 世界民族舞踊研究所 所長 / 現 安德起ウムジギム研究所 芸術監督



白珍珠 (ペク・ジンジュ) / 舞踊

韓国芸術総合学校 学士・修士卒業 / 高麗大学校 文化コンテンツ修了
Motion architect Art director / 韓国芸術総合学校 実技科 講師



裴眞鎬 (ペ・ジンホ) / 舞踊

Subverted Anatomical Landscape芸術監督
第16回ソウル国際舞踊コンクール 振付部門 若手振付師 金賞受賞
第25回Critics Choice Dance Festival 最優秀振付師選定
第30回舞踊芸術賞 演技賞受賞



李度英 (イ・ドヨン) / 舞踊

韓国芸術総合学校 学士・修士卒業
ソウル国際舞踊コンクール進行チーム長
舞踊団 ALTIMEETS 団員 / 舞踊団 Humancetance 団員